

具体的手法の検証

① 卒業式開式

【目的】

通常の例会と異なり、卒業式を例会のセレモニーなどから切り離し、独立させることにより、特別感を演出することを目的とする。

【検証】

今からが卒業式です。と宣言することにより特別感を演出することができ、緊張を持たすことが出来た。

② オープニングムービー

【目的】

2025 年度の 1 年間の活動を振り返り、今年度最後の例会だという事を意識してもらうこと。卒業生の思い出の写真をまとめた映像を上映し、卒業へと向かう意識を高めること。卒業式の開式に合わせて、映像を流すことで会場の雰囲気切り替えて、厳かな環境を演出することを目的とする。そして、映像も AI 機能を駆使して作ることでよりよいものを作ることを目的とする。

【検証】

オープニングムービーを全員で鑑賞し、今年度の青年会議所運動を思い出すとともに、いまから始まる「卒業式」と「卒業生各個人」に意識を集中させることができた。さらに、そのオープニングムービーも「Filmora15」という AI 機能を搭載させたアプリを使う事で、動画作成が素人の私たちでも満足いくものができた。

③ 卒業生からのメッセージ

【目的】

卒業生に、これまでの青年会議所運動での経験を踏まえて、在籍会員へ自身の意志や受け継いで欲しいこと、運動を行う中で楽しかった場面を語っていただきます。卒業生には自身の運動を振り返り、卒業後も朗らかに申請を歩むきっかけとしていただく。在籍会員にはこれから目指していく姿や目標を認識し、今後もさらなる高みを目指して青年会議所の運動を進めることができるきっかけとなることを目的とします。

【検証】

卒業生のメッセージが、経験を通じた思い出話が多く、非常に説得力のある熱いメッセージであったので、卒業生と在籍会員に対する目的を達成することができ、卒業生の今後の糧となる事、在籍会員のやる気を上げる事がアンケートで確認できた。

④ 卒業証書授与

【目的】

在籍会員が、様々な場面でご活躍されて四日市青年会議所会員として尽力されてきた卒業生の勇姿を間近で見ることによって、今後も四日市青年会議所の中で様々な活動をしていく意欲を向上させることを目的とする。

【検証】

卒業生の雄姿を間近で見ることで、自身も卒業するまでに様々な活動を前向きに行う意欲を向上させることができ、アンケートにより、自分もこういう風に卒業したいと思わせることができた。

⑤ 在籍メンバー送辞

【目的】

卒業生へ敬意をもって臨み、在籍会員はこれまで青年会議所運動に尽力されてきた卒業生へ向けて、卒業生の想いを受け取っていく決意をすることで、青年会議所運動の未来に向かって主体的に取り組み続ける意志を固めることを目的とします。

【検証】

在籍会員代表が、卒業生との思い出や、卒業後への希望など、想いのこもった決意を表明する送辞により、青年会議所運動に主体的に取り組み続ける意志を固めることができ、今後の活躍を期待できることが感じられる。

⑥ 卒業生答辞

【目的】

在籍会員が、卒業生がこれまでの青年会議所運動を振り返って感じた想いを聞くことによって、これから目指すべき姿を理解し、青年会議所運動に対して主体的に参加する意欲を高めていくことを目的とします。

【検証】

卒業生の、青年会議所や仲間たちへの想いを知ることで、自身が卒業するときの有るべき姿を思い描き、青年会議所運動に対して主体的に参加する意欲を高めることができ、青年会議所活動がかならず自身の為になると感じてもらった。

⑦ 直前理事長感謝状贈呈

【目的】

直前理事長へ、一年間の感謝を表明し、直前理事長の役職から見えた現在の四日市青年会議所の姿や、今後は組織としてどのように変化して成長していくことが必要となってくるのかを伝えていただくことによって、これからの四日市青年会議所で様々な役職を担っていく会員として目指すべき姿を認識することを目的とします。

【検証】

直前理事長より、組織としてどのように変化して成長していくことが必要となってくるのかを伝えていただき、今後さまざまな役職を担っていく会員として目指すべき姿を認識することができ、理事長という役

職の大切さを感じていただいた。

⑧ 卒業式閉式

【目的】

特別な「卒業式」の終了を宣言し、気持ちを切り替え通常の例会通りに意識を切り替えることを目的とします。

【検証】

意識の切り替えを行い、通常の例会通りに意識を切り替えることができ、2025 年度、最後の例会に参加している意識を持っていた。

⑨ 出向者からのメッセージ

【目的】

2025 年度に出向された会員の名前をお呼びし、ご起立いただきます。代表者 1 名にご登壇いただき、出向を通じて得た学びや成長をお話しいたします。前向きなメッセージを聞いて、次年度在籍会員にも出向という活動に参加、支援する機会とします

【検証】

出向で得られた経験と学びについてメッセージをいただき、1 年間活動を通して成長した経験者だからこそ話せる重みと説得力のある内容だった。次年度出向者には 1 年後の自分の成長した姿をイメージしていただき、支援する人は応援する気持ちとなっていた。

⑩ 例会皆出席者発表

【目的】

2025 年度例会に皆出席された会員の紹介を行い、その中から代表者 1 名が、皆出席者としてのスピーチを行うことで、例会に参加する大切さを再確認していただき、次年度以降の出席率を上げてもらい、自己成長の機会を増やしていただく。

【検証】

周囲の頑張る姿に背中を押してもらった等、具体的な感想と経験をお話いただいたことで、青年会議所における例会との関わり方について学びのあるスピーチとなった。

⑪ 理事長からのメッセージ

【目的】

2025 年度理事長としてご活躍された仲野理事長より、2025 年度体制始動から 12 月度例会に至るまで、理事長所信の実現に向けてともに歩んだ全会員に向けて、これまでの活動を振り返りながら、理事長としての想いと感謝の言葉をお伝えいただきます。

この場は、理事長の想いに触れることで、在籍会員が自らの活動の意義を再認識し、次代への意欲を高める機会となります。

【検証】

活動を通して、様々な経験をした理事長と会員の一年間の活動を振り返るメッセージと感謝の言葉、次年度へのエールをいただき、本年最後の例会を締めくくりのみでなく、次年度へつながる機会となった。